



あしびなーだより

まじゅんあしびなゆんたくひんたくわらいふくい

No. 28夏号 令和 8年 7月 31日 発行

発行者：渡嘉敷村生活支援コーディネーター

金城肇・小嶺美智子・小嶺美佐子・新垣光枝・金城広美

神田沙也加・島袋綾乃・吉崎真美・高橋雅美

ゆいまーるカフェ

7月20日実施

コーグァーシに込めた、旧盆のぬくもり

旧盆を前に、コーグァーシ作り体験を行い、地域の子供たちと高齢者が一緒に昔ながらの味づくりを楽しみました。

沖縄の旧盆はご先祖をお迎えし、感謝の気持ちを伝える大切な行事です。昔はコーグァーシも各家庭で手作りされ、子どもたちはお手伝いをしながら、出来上がったお菓子を味見するのが楽しみの一つでした。

当日は、高齢者が作り方や昔の思い出を語り、子どもたちは楽しそうに耳を傾けながらコーグァーシ作りに挑戦していました。昔から大切にされてきた旧盆の風習や家族のぬくもりに触れる、心温まるひとときとなりました。



ここに注目！！

花のコーグァーシ型は村内在住の兼城清孝さんのご家庭で使われていた、大変貴重なものをお借りしました。



あはれんハーリー

6月18日実施



旧暦5月4日（ユッカヌヒー）に、豊漁と航海安全を祈願する伝統行事「あはれんハーリー」が阿波連地区で開催されました。

区長と有志が早朝から区内7か所の拝所で祈願を行ったあと、阿波連ビーチで御願バーリーと阿波連小学校児童によるカヤック競漕が行われました。

今年から本ハーリーは渡嘉敷区と阿波連区による対抗戦となりました。風の噂では、来年に向けて渡嘉敷区ではすでに準備を始めているようです。

応援に駆け付けた高齢者福祉センターの皆さんも太鼓やカチャーシーで選手たちを力強く応援し、会場は笑顔と歓声に包まれました。地域の伝統を次世代へつなぐ、活気あふれる一日となりました。



旧暦の沖縄の七夕

ご先祖にお盆を知らせる日

全国的な七夕は、笹に願い事を飾る日ですが、沖縄の旧暦7月7日は、お盆を迎える準備をする大切な日です。



お墓の掃除し、ウンケー（お迎え）の日にはご先祖様を家へお迎えする「ソーローウンチケー（精霊お迎え）」の祈りを行います。



この日は神様の目が届かない「ヒーナシタナバタ」とも呼ばれ、日柄を気にせず仏壇やお墓に関することを行える日とされています。

住民健診

1日目

9月17日（木）

2日目

9月18日（金）

敬老会

9月25日（金）



編集後記

昔から受け継がれてきた風習には、ご先祖への感謝や家族、地域を思う気持ちが込められています。コーグァーシ作りや旧暦の七夕を通して、その大切さを改めて感じる機会となりました。これからも地域の絆を育みながら、この文化を未来へつないでいきたいと思います。